

第23回さいたま市立病院経営評価委員会議事録

日時	令和3年8月19日(木) 10時00分～12時00分
場所	さいたま市立病院 アッセンブリーホール
出席者	一般社団法人浦和医師会会長 登坂委員長 九州大学名誉教授 尾形委員(Web) 川崎市病院事業管理者 増田委員(Web) 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部 青地委員(Web) さいたま市自治会連合会副会長 大熊委員
事務局	保健福祉局 細沼保健福祉局長 青木保健福祉局理事 市立病院 堀之内院長、小山副院長、増田副院長 市立病院病院経営部 佐野部長 (病院総務課)高橋課長、渡邊主任 (病院施設管理課)赤沼参事兼課長、池田管理・防災係長、今井施設係長、庄田主事 (病院財務課)浅野課長、富田課長補佐兼財務企画係長、廣町調達係長、石橋主査、山崎主任 (医事課)増田課長、栗原課長補佐兼医事企画係長、吉田医事管理係長 (情報管理室)福田室長補佐 (患者支援センター)安西看護部長兼患者支援センター所長、日向副所長、竹村主幹 市立病院診療部 (薬剤科)玉川科長 (中央放射線科)藤田技師長 (中央検査科)手塚技師長
次第	1 開 会 2 議 事 (1)中期経営計画の達成状況に対する評価について (2)(仮称)第3次さいたま市立病院中期経営計画 骨子(案) 3 その他 4 閉 会
配付資料	・第23回さいたま市立病院経営評価委員会次第

	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿 ・さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について 【令和2年度評価(案)】 ・A3版 項目評価一覧 ・(仮称)第三次さいたま市立病院中期経営計画 骨子案
<p>1 開会 浅野病院財務課長</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまから第 23 回さいたま市立病院経営評価委員会を始めさせていただきたいと思います。</p> <p>委員の皆様方におかれましては業務ご多忙の折にも関わらず、当委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また前回の委員会におきまして、事務局の不備によりまして議事が中断しましたことを改めてお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。</p> <p>申し遅れましたが、本日の進行をさせていただきます病院財務課の浅野と申します。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず初めに、お手元の資料を確認させていただきたいと思います。</p> <p>お手元にある資料は、次第が1枚、委員名簿が1枚、A3版の評価項目一覧が1枚、さいたま市立病院中期計画の達成状況に対する評価について【令和2年度評価(案)】が1部、(仮称)第三次さいたま市立病院中期経営計画骨子案が1部の以上5点となります。</p> <p>また本日の会議につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、WEB会議とさせていただきます。</p> <p>ご発言の際には、画面下にございますマイクの部分をクリックして、ご発言いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>また本日、増田委員におかれましては、本委員会前にご予定がございまして、そちらが終了次第、ご参加いただく形になっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>これから議事に入りますがその前に、委員の皆様方にご了解いただきたいこととさせていただきます。</p> <p>さいたま市立病院経営評価委員会設置要綱第7条に基づきまして、会議は原則公開となっております。</p> <p>公開になりますと、本日の会議録、会議資料等につきましては、区役所の情報公開コーナーや市のホームページ等で市民の閲覧に供されることとなります。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴人につ</p>

<p>委員一同 浅野病院財務課長</p> <p>大熊委員</p> <p>浅野病院財務課長</p>	<p>いては非公開とさせていただいております。</p> <p>なお、委員の皆様のご過半数の同意があった場合は、会議録・会議資料につきましても非公開とすることもできますが、本日の会議は、公開ということによろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>ありがとうございます。それでは本日の会議は公開とさせていただきます。</p> <p>また、議事に入らせていただく前に、前回の委員会から、委員の方が変わられておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>前任の鈴木甫委員が退任されまして、新たにさいたま市自治会連合会副会長の大熊博様に委員としてご就任いただいております。大熊委員、それでは一言よろしく願いいたします。</p> <p>皆さんおはようございます。</p> <p>今年度より、さいたま市立病院経営評価委員を務めさせていただきます、さいたま市自治会連合会副会長の大熊と申します。よろしく願います。</p> <p>初めてのため、皆様のご支援ご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>登坂委員長、進行の方よろしく願いいたします。</p>
<p>2. 議事 登坂委員長</p> <p>浅野病院財務課長</p>	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>議事に入る前に、第22回さいたま市立病院経営評価委員会におきまして、WiFiの不都合、私の不手際等ございまして、中断することになりました。大変申し訳ございませんでした。改めて各委員にお詫び申し上げます。</p> <p>本日の委員会からは、このようなことがないように努めて参りますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って議事を進めさせていただきます。本日の議事は、(1)「中期経営計画の達成状況に対する評価について」です。</p> <p>まず、委員の皆様からいただいたご意見につきまして、事務局の方で資料にまとめてありますので、事務局よりの説明をお願いいたします</p> <p>それでは、頂戴いたしました委員の皆様のご意見につきまして、ご説明いたします。</p> <p>恐れ入りますが、A3版の「評価項目一覧」をご覧ください。</p> <p>こちらの資料の右から2列目が、外部評価にございます。こちら外部</p>

評価といたしまして、委員の皆様の評価を大項目ごとに記載させていただきます。

前回の委員会では、その左の欄にございます病院評価を修正するご意見はございませんでしたので、病院評価と同じ評価とさせていただきます。外部評価については以上となります。

続きまして冊子の方、50ページの目をご覧ください。

項目評価における主なご意見を大項目毎に取りまとめたものでございます。

まずは、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」の大項目「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」についてでございます。

まず、「1 新病院建設事業の円滑な推進」についてでございます。「旧病棟は、新型コロナウイルス感染症患者の対応で使う可能性があるため、解体工事を延期しているが、致し方ない部分もある」とのご意見を頂戴しております。

次に、「6 救急搬送患者数の増加」についてでございます。「救急搬送患者数が前年度と比べ、減少しているが、新型コロナウイルス感染症と関係があるのか。または、他の医療機関に分散したということがあるのか」といったご質問を頂戴しました。

さらにその下「9 化学療法実施件数の増加」についてでございます。こちらにつきましては、「化学療法実施件数が、目標値の8割に達していないが、例年と比較すると増加しており、非常に頑張っており、取り組んでいることが窺える」とのご意見を頂戴したところでございます。

その下、大項目「②医療の質の向上」についてでございます。

「19 医療安全関連の研修会・セミナー等の開催件数」については、「目標の年8回を達成しているが、新型コロナウイルス感染症により一部行えなかったものがあり、小項目評価をbとしているが、厳しく自己評価をしている」とのご意見や「感染症管理の認定を受けている看護師は何名いるのか」とのご質問を頂戴したところでございます。

さらに、大項目②に共通することといたしましては、「目標を達成している小項目が多く、良い実績である」との評価をいただいたところでございます。

次に、大項目「③利用者サービスの向上」についてでございます。

まず、「24 市民公開講座の実施」については、「コロナ禍においては、対面での講座は開催できないが、Web開催も検討したら良いと思われる。また、ホームページのアクセス数が多いので、Web開催のリンク

を張れば、参加者も増えるのではないかとと思われる」とのご意見を頂戴したところでございます。

次に「26 ホームページアクセス件数の増加」については、「ホームページアクセス数が非常に増加しており、今後は Web 活用が重要である」とのご意見を頂戴したところでございます。

続きまして、その下大項目「④病診連携の強化」についてでございます。

まず、「29 取扱件数の増加・維持」につきましては、「出産数が減少している中で、新型コロナウイルス感染症が収束した際に、出産数がさらに減るのか、維持できるのかは注視したい」とのご意見を頂戴したところでございます。

その下、「31 医療相談対応件数の増加」については、「医療相談対応件数の増加は、増員を行い、積極的に地域医療連携に取り組んでいる結果である」とのご意見をいただきました。また、「医療機関や介護事業所等の関係機関と連携調整とあるが、具体的な取り組み内容について教えて欲しい」とのご質問をいただきました。

ページをおめくりいただきまして、続きまして、51ページ「(2)健全な経営基盤の確立」をご覧ください。

まず、大項目「①業務改善に関する取組」についてでございます。

「34 SPD の導入」においては、「SPD の運用に問題あるいは課題はなく、順調に運営されているのか」とのご質問をいただきました。

次に、大項目「②収益確保に向けた取組」についてでございます。

まず、「35 病床利用率(一般病床)の向上」については、「新型コロナウイルス感染症患者に対応するため、病棟の患者数を減らしたり等行っていると思うが、そういった状況の割には、素晴らしい数字ではないかと思う」とのご意見をいただきました。また、「令和2年の診療報酬改定にて重症度、医療・看護必要度の要件が変更となったが、その影響は出ているか」とのご質問を頂戴したところでございます。

次に、「40 医業未収金発生率の抑制」については、「医業未収金発生率が非常に増えている中で、回収については、業務委託となっているが、具体的にどのような形でやられているのか」とのご質問をいただきました。また、「未収金は累積金になっているのか、未収となったものは全額委託業者に引き継がれるのか」とのご質問も頂戴したところでございます。

続きまして、大項目「③費用縮減に関する取組」についてでございます。

「44 ESCOによる光熱水費の縮減」については、「新病院へ移行し、かなり規模が大きくなったことにより、予想外に光熱水費が多かったため、削減額が多かったのか。または、光熱水費の使用量は想定範囲内であったが、ESCOにより削減額が多かったのか」とのご質問をいただきました。また、「取組内容・病院評価説明を、もう少し具体的にどうということなのかを書いていただきたい」とのご意見も頂戴したところでございます。

次に、大項目「④経営管理体制の整備」についてでございます。

「46 経営状況に関する説明会(研修会)の実施」につきましては、「説明会を開催したことは、大変結構なことだと思いますが、説明会の参加者が少ないので、対面会議ではなく、Web開催という方法もありうるのではないか」とのご意見を頂戴したところでございます。

次に、大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」についてでございます。

「47 職員の増員」については、「看護職員が71名増員されているが、今後のコロナ病棟や夜間休日対応に問題はないのか、川崎市では産休育休中の職員は、職員定数外となっているが、さいたま市立病院ではどうなっているのか」とのご質問をいただきました。また、「当小項目においては、目標値にできるだけ近づけていくという評価であるべきだと思う」とのご意見をいただきました。最後に、医師の欠員について、「例えば診療科が偏っていたり、何かそういったことはあるのか」とのご質問も頂戴したところでございます。

なお、「47 職員の増員」につきましては、前回委員会にて青地委員より医師・看護師が何名不足しているかのご質問をいただいておりますので、この場を借りてご回答させていただきます。

令和3年3月末時点におきましては、医師の計画上の職員数は135名でございますが、在籍は107名のため、28名の不足でございます。

また、看護師の計画上の職員数は672名でございますが、在籍は659名のため、13名の不足でございます。

なお、ご参考までに直近の8月1日時点についてご説明すると、医師の計画上の職員数は3月末時点と同様に135名でございますが、在籍が6名増え、113名のため、22名の不足でございます。

また、看護師の計画上の職員数は3月末時点と同様に672名でございますが、在籍が8名増え、667名のため、5名の不足となっております。

ここで説明を中断させていただきます。増田委員がご参加いただき

<p>増田委員 浅野病院財務課長</p>	<p>ましたので、ご紹介させていただきます。先生どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>遅くなりまして申し訳ございません。よろしくお願ひいたします。</p> <p>続きましてご説明の方をさせていただきます。冊子をご覧いただきまして、恐れ入りますが52ページ目、収支計画の達成状況、こちらをご覧ください。</p> <p>さいたま市立病院経営評価委員会の主な意見等について簡単に触れさせていただきます。</p> <p>「国(県)補助金のうち、新型コロナウイルス感染症に係る補助金額がいくらであるか」及び「新型コロナウイルス感染症の影響のなかで収益・指標ともに大健闘」とのご意見を頂戴したところでございます。</p> <p>委員の皆様から頂戴したご意見につきましては以上となります。改めまして委員の皆様方からのご意見の方よろしくお願ひします。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ただ今、事務局から、委員の皆様から頂戴したご意見につきまして、「Ⅰ項目評価」及び「Ⅱ収支計画・主要経営指標の達成状況」の説明がありました。</p> <p>それでは、委員の皆様、何かご意見等ございますでしょうか。増田委員いかがでしょうか。</p>
<p>増田委員</p>	<p>途中からの参加で申し訳ございませんでした。</p> <p>特に新たな意見はないのですけれども、前回に確認をしようと思っていたところが、幾つかございますが、さかのぼってもよろしいでしょうか。</p>
<p>登坂委員長 増田委員</p>	<p>ぜひお願ひしたいと思ひます。</p> <p>小項目「22 入院患者満足度の向上」、「23 外来患者満足度の向上」になります。令和2年度実績が、それまで以前の実績と比べて、非常に良い数値ですけれども、これは対象期間ですとかアンケートのやり方ですとか設問内容が違ふため、こういう結果になったのでしょうか。小項目評価はaで結構と思ひのですが、数値が10%から20%程度上がっているの、教えていただきたいと思ひます。</p>
<p>登坂委員長 増田医事課長</p>	<p>小項目「22 入院患者満足度の向上」、「23 外来患者満足度の向上」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>医事課長より、お答えさせていただきます。</p> <p>まず、外来患者さんのアンケートにつきましては、今回より紙によるものから、ウェブを通してのものに変更しております。また、この満足度の数値の上昇についてですが、前回のアンケート調査から、病院が古い建物から新しい建物に変わっておりまして、それにより患者さんに良い印象をお持ちいただいたのと、あとは新しい建物で職員も働き始めたこ</p>

<p>登坂委員長 増田委員</p>	<p>とにより、アメニティ面での向上もあったのではないかと考えております。</p> <p>増田委員いかがでしょうか。</p> <p>よくわかりました。ありがとうございます。</p> <p>それから続きまして、小項目「41 材料費対医業収益比率の適正化」になります。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>これは令和2年度目標値にほぼ達したということでb評価になっていますが、病院評価説明の中を見ますと、価格の差、例えば薬品は年間で約1,000万円の削減効果があり、診療材料では年間で約1,600万円の削減効果があるとのこと。削減効果から見るとかなり大きいですが、b評価としており、これは致し方ないことかと思いつつも、もっと高い評価でも良いのかなと思いました。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>今の小項目「41 材料費対医業収益比率の適正化」に関して、もう少し良い評価でも良いのではないかとのご意見をいただいておりますけれど、事務局の方よりお願いします</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>病院財務課です。ご意見ありがとうございます。</p> <p>確かに数字上では削減効果が多く見えますが、目標設定があくまでもパーセンテージとなっております。こちらにございますように令和2年度目標値が23.8%、それに対する実勢が25.2%ということで、達成できなかったということでこのような評価としております。</p>
<p>増田委員</p>	<p>わかりました。評価上やむを得ないことなのだろうと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、「小項目43 価格及び保守内容の妥当性確認」になります。</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>病院評価説明によれば、競争入札で競争性を高めたということで、定価ベースからかなりの削減効果があったということですが、当初の医療機器の価格が入札で安くても、毎年かかる保守費といったものもあると思います。5年間ぐらいのスパンで見ると、安い機器がかえって高くついてしまうことも、結構あるのですが、そのあたりの工夫は入札の時に何かされておられるでしょうか。これは質問になりますが、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、病院財務課からご回答させていただきます。</p> <p>こちらについては、特に取り組みがなく、純粋なる一般競争入札で行っているところでございます。その後の保守についても、特に取り組んでいることはないというのが現状でございます。</p>

増田委員	<p>なかなか工夫が大変だと思いますが、何かあれば教えていただきたいなと思ったところです。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、「小項目46 経営状況に関する説明会(研修会)の実施」になります。</p> <p>経営状況に関する説明会の実施ということで、説明会を令和2年度に2回なさっているが、参加者が少なく、全職員に発信が出来ているのかということで、尾形委員からのご意見で Web 開催についてのご提言があったと思います。川崎市の場合は、一定程度の内容制限があるかもしれないですけども、使用したパワーポイント資料を電子カルテに載せて、全職員が閲覧できるようにしておりますが、全職員または欠席した幹部職員が見られるような工夫をしておりますでしょうか。</p>
登坂委員長 浅野病院財務課長	<p>これにつきましても事務局からの説明を求めます。</p> <p>それでは、病院財務課からご回答させていただきます。</p> <p>当院におきましても同じような状況です。出席できなかった職員に対しましては、電子カルテの共通フォルダにて、閲覧できる形にさせていただきます。</p>
増田委員	<p>ありがとうございました。それでは、病院評価説明に付け加えて書いていただくと良いと思います。</p>
登坂委員長	<p>幾つも質問させていただきましたが、私からは以上です。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、尾形委員、いかがでしょうか。</p>
尾形委員	<p>前回具体的な項目ごとに意見や質問をさせていただいたので、今回特にこれに追加するようなことはございません。</p> <p>全体としてコロナ禍の中で、大変頑張っておられると思いますし、堀之内院長以下病院スタッフの方々のご努力に対して敬意を表したいと思います。</p> <p>その上であえて申し上げますと、これは次の議題とも関連することですが、今後やはり、コロナ以後を踏まえた病院経営を考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>もちろんコロナは、まだ到底収まったとは言えない状況ではあるわけですけども、しかし組織の運営とか経営という視点から考えると、先を見越した発想や対応が求められてくると思います。</p> <p>その上で52ページの収支状況のデータを改めて見ると、収入の方では、経常収益が目標値の202億円に対して、実績値(見込)が229億円と上回っている。</p> <p>その一方で、経常費用は目標値の230億円に対して、実績値(見</p>

登坂委員長	<p>込)が228億と下回っていて、結果的に経常損益が約28億円の赤字目標から7,600万円の黒字になっており、大変素晴らしいデータだと思うのですが、これについての中身を少し見る必要があると思います。</p> <p>どういことかと言いますと、収入の面でいうと、医業収益がかなり目標値に近いところまで頑張っておられるのは良く分かるのですが、一方で医業外収益の国や県の補助金がたくさん入り、結果的に経常収益が目標値を上回ったということなので、やはりコロナ以後のことを考えていく必要があるということが一つです。</p> <p>それから支出について言うと、経費は、かなり目標値を下回るようにコントロールされているのですが、一方で職員給与費や材料費は、目標よりも少し多くなっているのので、この辺は今後の経営を考えていく時には注意すべき点というふうに思います。以上意見として申し上げておきます。</p> <p>尾形委員、ありがとうございました。</p> <p>実際補助金がなければ、この経常損益はマイナスになるわけですし、コロナ禍でどんどん変わり、そしてニューノーマルとなったことを、今度また元に戻す時に、どこからどのように戻していくかというのが、これからの重要な問題だと思っております。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、青地委員お願いできますか。</p>
青地委員	<p>はい特に追加する事項はないのですが、尾形委員が仰っていましたような給与費ですとか、人件費に関する部分については、現状コロナ禍であることを考えると、現在は致し方ないところもあるとは少し感じました。私の方からは以上です。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今回から参加されています大熊委員、何かありますでしょうか。</p>
大熊委員 登坂委員長	<p>特にありません。</p> <p>ありがとうございます。それでは、特にご異議がなければ、次回までに評価案を取りまとめたいと思います。</p> <p>続きまして「Ⅲ 全体評価」になりますが、事務局からの説明をお願いします。</p>
浅野病院財務課長	<p>それでは、全体評価についてご説明をさせていただきます。資料の56ページ目、こちらをご覧ください。</p> <p>まず、全体評価、上段の方、評価結果及び判断理由でございますが、申し訳ございません、全体の議事が中断となってしまったこともございまして、今回結論保留として、空欄とさせていただきます。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>もしよろしければ、再度皆様方からご意見を頂戴しまして、次回の評価委員会でこちらの案をお示しさせていただければと考えてございます。</p> <p>続きまして下段の方、評価にあたっての委員からの主な意見について、ご説明させていただきます。</p> <p>内容といたしましては、コロナ禍でありながら、目標値にかなり近い医業収益を確保できたのは良いと考える。今後、新病院の機能をフルに活用できるようになれば、さらに医業収益、医業外収益ともに上がっていくものと考えられるとのご意見を頂戴しました。</p> <p>こちらについてのご説明は以上となります。よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この全体評価に関しては、十分な検討がなされておりませんので、各委員の方々からご意見を頂戴したいと思います。</p>
<p>増田委員</p>	<p>それでは初めに、増田委員からお願いできますでしょうか。</p> <p>令和2年度は下段の通り、コロナや新病院の移設があり、例年と異なるにも関わらず、全職員が非常に頑張られて、今回の結果に至ったというふうに思っております。</p> <p>経常収益の目標値が赤字であるところが、補助金により黒字になったとありますが、これはコロナ対応をされた結果だと思えます。補助金が出るとか全く分からない状況の中で、市民のために一生懸命コロナ対応をされたということに敬意を表したいと思っております。</p> <p>今年度も同じような状況が続くわけですが、同じように補助金が出るかという危惧がされていたところですが、今年度に関しては、一定程度の休床補償は出ると思われしますので、同じように職員がモチベーション下げることなく、コロナ対応あるいは、一般通常医療対応をされていけばまた良い結果が、今年度も出るのではないかと考えております。私からは以上でございます。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。事務局はこのご意見を踏まえての対応をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは尾形委員、よろしくお願いいたします。</p>
<p>尾形委員</p>	<p>先ほどの私の発言は、全体評価のつもりで、申し上げたので、先ほど申し上げたことの中から事務局の方で整理していただければよろしいかと思います。1点付け加えるとすると、前回も申し上げましたが、小項目評価及び病院評価説明に対する病院自身の評価が、かなり厳し目にされており、そこを評価委員として評価をしたいと思えます。また、その自己評価を尊重したいと思えますので、そちらを付け加えていただければ</p>

登坂委員長	<p>と思います。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p>
青地委員	<p>それでは、青地委員いかがでしょうか。</p> <p>他の委員の方々と同じです。特に付け加えることと、この後もコロナ禍がしばらく続く状況にあります。新病院にしたことで患者さんからの評価が上がったりですとか、もちろん予定していた手術がなくなったと思うのですが、手術件数はある程度数字が維持できているのかなというふうには感じました。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございます。</p>
大熊委員	<p>大熊委員はいかがですか。</p>
大熊委員	<p>特にありません。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございます。</p>
	<p>私も委員長として、コロナ禍の中で身近でさいたま市立病院を見てきておりますが、本当に補助金があったことではありますけれども、医業収益をここまで維持できていたということは、やはりそれだけコロナ禍に対応しているということだと思います。</p> <p>今後、いつかはこのコロナも収まるでしょうし、その際、さいたま市立病院の本来持っている機能をフルに生かした医療体制になっていただき、ニューノーマルとなってしまった問題をどこから緩めて、また元に戻していくかということ、今後の検討課題にしていただければと思っております。堀之内院長はじめ、スタッフの皆さんには本当に頭が下がる思いですけれども、ぜひ頑張ってくださいと思っております。</p> <p>それでは、各委員から貴重な意見をいただきましたので、事務局は評価案を取りまとめてください。</p>
浅野病院財務課長	<p>続きまして、議事「(2)(仮称)第3次さいたま市立病院中期経営計画骨子(案)」についてです。事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは議事「(2)(仮称)第3次さいたま市立病院中期経営計画骨子(案)」についてご説明させていただきます。</p> <p>まずお手元の資料(仮称)第3次さいたま市立病院中期経営計画骨子(案)をご覧ください。</p> <p>今回の中期経営計画の改定に当たりまして、当初は、国の新公立病院改革ガイドライン、これが示された後、改定する予定でございました。</p> <p>しかし、新たなガイドラインをまだお示しいただけないという状況ですので、現行のガイドラインをもとに今回の計画策定するところでございます。</p> <p>そのため、基本的には、時点修正という形になっております。</p>

しかし、現行計画は、施設の老朽化等の旧病院における課題が多かったのですが、これにつきましては新病院となって解消されているといったところがございます。

そのため第3次中期経営計画における課題につきましては、収益の確保、収支の改善、またそれに伴います人員の確保を課題として挙げているところでございます。

本骨子(案)におけるポイントは、市立病院の課題、それに対応する取組であると考えてございますので、こちらを中心にご説明をさせていただきます。

それでは、恐れ入ります資料の6ページ目をご覧ください。

「4. 市立病院の課題」でございます。こちらから簡単にご説明させていただきます。

令和元年12月の新病院開院、救命救急センターの開設、市内唯一の第二種感染症指定医療機関であることを踏まえまして、新興・再興感染症に関する緊急時の対応能力など、旧病院時代に策定した現行の計画の課題から見直しを図っているところでございます。

それぞれ各項目について簡単にご説明をさせていただきます。

まず、「(1)人材確保に関する課題」でございます。

質の高い医療を安定的に提供し、適切な収益確保するには、人材の確保が不可欠であるとの考えでございます。

現行の計画につきましても、人材確保については謳われていますが、これに加えまして上から三つ目のとおり、高度・先進医療に関する従事する医師、医療スタッフの知識、技術の習得ができる環境を整備すると、新たに職員のスキル向上に向けた取り組みを追加しようと考えてございます。

またその次、「(2)収益確保に関する課題」についてでございます。

新病院の開院に当たりまして、新たな工事を行ったため、さらに収益の確保に向けた取組が必要と考えてございます。

上から二つ目のとおり、特に減価償却費、人件費、材料費の増加が見込まれており、健全経営の維持を見据えた、資金確保は、これまでに以上に取り組む必要があるため、こちらについては現行から引き続き項目立てをしております。

続きまして、「(3)政策医療、地域医療に関する課題」でございます。

これは現行の計画にもございます。地域の基幹病院として求められるがん診療や周産期医療の充実、災害拠点病院として災害時の医療体制の充実、今後見込まれる高齢者の大幅増加に対応するための機

能分化及び連携強化については、現行の計画と同様に引き続き記載してございます。

また、新たに開設されました救命救急センターの体制整備や安定稼働、ひいては地域の救急医療の充実については、新たに記載をしたものでございます。

また、上から四つ目のとおり、新型コロナウイルス感染症の対応や市内唯一の第二種感染症指定医療機関であることを踏まえまして、新興・再興感染症に対する、平時からの対応を新たに記載しているものでございます。

続きまして7ページ目、「(4)病院運営に関する課題」でございます。

当院の運営に関する課題として、働き方改革の取組を新たに追加してございます。

続きまして、「5. 市立病院の目指すべき方向性とその実現に向けた取組」でございますが、こちらは前述の「4. 市立病院の課題」に対する目指す方向性とその実現に向けた取組について記載してございます。(1)「地域完結型医療の要」として、地域医療における中核的な役割と(2)健全な経営基盤の確立の2本立てで記載してございます。なお、本項目の項目立ては、現行の計画と同じでございますが、これらにぶら下がる具体的な目標であるアクションプランはまた別に設定する予定でございます。

続きまして、今回新たに追記したのがその下、「6. 新公立病院改革ガイドラインに対する考え方」でございます。

こちらは、新規で項目立てをしてございます。現行の新公立病院改革ガイドラインにつきましても、各地方公共団体が策定する新改革プランに記載すべき事項について記載されております。現行の計画におきましても、この趣旨を順守し、記載しているところではございますが、記載すべき事項を項目立てしていないものがあり、不明確なところがあったため、ガイドラインにあわせた項目立てをしてございます。

資料ご覧いただきますと「(1)地域医療構想を踏まえた役割の明確化」から始まりまして、「(2)経営の効率化」、「(3)再編・ネットワーク化」、「(4)経営形態の見直し」と項目立てをしてございます。

「(4)の経営形態の見直し」の「②経営形態の見直しの検証について」をご覧ください。

こちらにつきましては、これまで重ねておりました検証結果を踏まえて、「地方公営企業法の全部適用」への移行が最適であるとしたと記載してございます。

<p>登坂委員長</p>	<p>またその次、「③今後について」でございます。こちらについては、全部適用への移行時期についてお示しているものでございます。本計画の収支計画を達成し、財務面を含む経営安定化の基盤を構築する道筋をつけた上で、移行と新たに記載しております。</p> <p>こちらにつきましては、現行の計画におきましては、全部適用の移行については、新病院を見据え、経営に与える影響を十分に検証し、早期に判断としてございましたが、第3次中期経営計画では全部適用への移行が最適とした上で、道筋についても記載をしたところでございます。</p> <p>以上、非常に雑駁ではございますが第3次中期経営計画骨子(案)の説明でございます。</p> <p>委員の皆様方からのご意見をお願いしたいと思います。特に改定の際に踏まえる事項についてのご意見を頂戴できればありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から第3次中期経営計画骨子(案)を説明いただきましたけれども、委員の皆様方のご意見をお願いします。それでは、増田委員からお願いします。</p>
<p>増田委員</p>	<p>詳細にわたってご説明いただきありがとうございました。</p> <p>新しい項目もいくつか追加されたということと、経営形態の見直しが一番大きな柱であるかなと思って聞いておりました。</p> <p>6ページの「(3)政策医療、地域医療に関する課題」の四つ目になります。</p> <p>コロナはいずれ収束すると思われませんが、新興感染症というのが起こる可能性がありますので、そういったことに備えて平時から対応することとは非常に重要なことだというふうに改めて感じました。この辺りをきちんと書いておられており、いろいろ考えられた案だなというふうに思っております。</p> <p>政策医療、地域医療に関する課題の中で、なかなか難しい点もあるかと思いますが、SDGsや脱炭素といった内容を反映してもよろしいかと思いました。例えば、ESCO事業は、脱炭素に関わるというふうに思っております。あとは、病院でいえば、ディスポーザブルを今後どうしていくかというようなことも該当するかもしれません。</p> <p>市全体おそらく国全体も脱炭素、持続可能社会に取り組んでいくということがありますので、そういった文言をどこかに盛り込まれると、曖昧な表現になりますが、新しい経営計画として良いかなと思ったところです。</p>

	<p>それから経営形態の見直しに関しましては、ほぼ政令指定都市の市立病院は、ここに書いてありますように、地方公営企業法の全部適用あるいは独立行政法人となっています。病院事業というのは、いわゆる行政と違い、日々いろいろと変化するものですから、小回りが利く形である独立行政法人が一番やりやすいと思うのですが、全部適用という経過をとるかあるいは独立行政法人でいくかということをお勧めたい。なお、川崎市は全部適用となっております。</p> <p>ただ、全部適用であっても、病院の開設者は市長ということになりますし、予算は病院で立てて良いことになっておりますけれども、一定程度枠がはめられますし、議会对応もありますので、全部適用になったからといっていわゆる、公務員である不自由さから逃れることは、できないわけです。</p> <p>ただ、職員定数の話を含めて今よりかなり自由度が高くなりますので、コロナ対応や日々の臨床において起こる突発的な事への対応にしても、ここにお書きになったように現状としては地方公営企業法の全部適用への移行が最適であるということには同意したいと思えます。</p> <p>私の意見を述べさせていただきました。以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。大変貴重なご意見ですので、事務局の方でまとめたいと思っております。</p>
登坂委員長	<p>それでは尾形委員、お願いいたします。</p> <p>何点かありますので、順番にお話をしていきたいと思えます。</p> <p>まず2ページで、上段に最近の動きということで医療法改正のことが載っていて、5疾病6事業、新興感染症対策は、確かにその通りなのですが、これとあわせて、外来機能の明確化ということが打ち出されています。具体的にどういった方向に行くかはまだ不明ですが、外来機能報告が現実化していくので、そこは少し意識しておいたほうが良いと思えます。私は、さいたま市立病院に大きな影響はないと思うのですが、外来の明確化の動きをどう踏まえるかということ、意識をされた方が良いということが1点目です。</p> <p>それから、これは要望なのですが5ページの、「①市内医療機関における位置付け」の三つ目にて、MDC疾患分類別の急性期機能の位置付けと書いてありますが、こういう分析を是非していただきたいと思えます。また、出来れば地域における他の競合する病院あるいは連携先の病院の状況も併せて示していただくと、市立病院の位置付けがより明確になるのではないかと思います。</p> <p>もちろん、この評価委員会での参考資料という位置付けでも良いとは</p>

思うのですけれども、MDC 別のデータをぜひ見せていただければと思います。これは要望です。

それから、6ページに「4. 市立病院の課題」ということで項目が上げられていますが、私としてはこの(1)(2)(3)の順番を変えたほうが良いと思います。

と言うのは、次の7ページの「5. 市立病院の目指すべき方向性とその実現に向けた取組」で、こちらはまず(1)「地域完結型医療の要」として、地域医療における中核的な役割というのが出てきています。やはり、これが一番にあると思うのです。

6ページで言うと、(1)の人材確保も非常に大事な問題ではあるのですが、やはり(3)の政策医療、地域医療に関する課題が、まず市立病院としてはあるのではないかと思います。

そういう意味で4. と5. の整合性を取った方が良いのではないかと思います。

その上で中身を見てみると、(3)政策医療、地域医療に関することですから非常に大事なことだと思うのですが、黒ポツが並んでいて、いきなり具体的な話に入っているのですけれど、各論の前に総論的なことが一つあるのではないかと思います。

言うまでもなく、公立病院として、政策医療を担うとともに、地域医療に貢献するということがあり、その具体的なことがここで並んでくるのだと思います。やはり、基本的な市立病院としてのミッションとかポジショニングということは、明示された方が良いのではないかと思います。

それから、上に戻って人材確保のところですが、これはこれで結構だと思うのですが、いわゆるマグネットホスピタルと言われるような発想もあると思います。

つまり、医師や看護職員等の専門職に選ばれるような魅力のある病院という発想に立って進めていただければと思います。もちろん現在すでにさいたま市立病院はそうなっていると思うのですけれども、こうした発想を大事にいただければと思います。

さらに、「(1)人材確保に関する課題」の2つ目の黒ポツですが、今後高齢化に伴い、さらなる手術需要の増加が見込まれるという表現になっているのですが、確かにそういった面はあるのでしょうかけれども、ただこのまま読むと、高齢者に対してバンバン手術をやるということを謳っているようにも見えるので、少しここは表現を工夫された方がよいと思います。高齢化に伴い、手術が増えるということは、あまり前面に打ち出さな

	<p>いほうが良いと思います。</p> <p>それから、7ページにいきまして、「(4)病院運営に関する課題」の情報提供ですが、現在厚生労働省あるいは日本看護協会が主体になり、2019年度から看護業務の効率化に関する先進事例アワードのような事業が行われていて、今年で3年目になります。ここで書いてあるようなタスクシフトティングとか働き方改革を考える際には、やはり業務の効率化という視点も大事と思うので、その辺は意識をしていただければと思います。</p> <p>それから最後ですが、10ページに、先ほど増田委員からお話があった、経営形態の見直しですが、私も増田委員のご意見に賛成です。なお、「②経営形態の見直しの検証について」の最後の文章が、地方公営企業法の全部適用への移行が最適であるとしたと書いてあり、これは現時点ではそうなのだろうと思うのですが、このままだと今後未来永劫、全部適用でいくと取れてしまうのですが、先ほど増田委員がおっしゃった通り、現状においてはということが私は大事だと思います。当面とか現状においては、これが最適だ。しかし、将来もこれで縛ってしまうのは、あまりよろしくないと思います。私も増田委員のご意見に賛成で、やはり、出来れば独立行政法人を目指していく姿勢があってもいいだろうと思っています。これは意見でございます。以上です。</p>
登坂委員長	<p>大変貴重なご意見ありがとうございました。</p>
青地委員	<p>それでは、青地委員いかがでしょうか。</p> <p>たくさんのお意見が出ておりますので、追加するとすれば、2ページの「②働き方改革関連法」のところでしょうか。</p>
	<p>私が所属しています日本医療経営コンサルタント協会でも、全国的にこちらの委託業務を行っているところがございまして、結構時間がかかる話でございます。</p> <p>令和6年度からということで、常勤とか働き方の肩書きがわかりませんがパート的な仕事とかいろんな形態の先生方がいらっしゃると思うのですが、1医療機関だけの話ではなくなってきておりますので、その辺の調整ですとかは、比較的早くから動かれていた方がよろしいかなというふうには思っております。</p> <p>現状、こういった業務をやっている者から、ひとつお話をさせていただきました。私の方からは以上です。</p>
登坂委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは大熊委員、地元いらして、さいたま市立病院に希望することですとか、何かご意見いただければと思います。</p>

大熊委員	<p>紹介がないとなかなか入院が出来ないため、困っている人がたくさんいると聞いていますが、どうなのでしょう。</p>
登坂委員長 堀之内院長	<p>これに関して堀之内院長いかがですか。</p>
	<p>ご紹介いただければ一番良いのですが、当院としてはウォークインで来られた方を診ないということはないので、ご希望があれば来ていただければと思います。</p>
登坂委員長	<p>ただ状況によっては、選定療養費と言って紹介状がない方の場合に、追加でお金いただかないといけない場合があります。けれども、市民の方にはぜひ来ていただいて、ご利用いただければと思います。</p>
	<p>ありがとうございます。</p>
	<p>最後に私の方から一言申し上げたいと思います。</p>
	<p>この5ページ目、「(3)市立病院が果たしている役割」の「②市立病院の特色」ということです。がん医療に関しては、外来化学療法が少し落ちているということもありますし、緩和ケア病棟が十分生かされていないというのが、非常残念に思っております。さいたま市においては、がん患者の都内への流出ということもありますので、緩和ケア病棟を持っているのが、市内では市立病院だけですので、コロナ禍を打破しなければならない状況ですが、今後の役割の中で、がん拠点病院としてがん医療の充実をしっかりと図るような骨子を考えていただきたいです。</p>
	<p>あと、「②市立病院の特色」の一番下になっております、地域医療連携になります。</p>
	<p>これはもう古い話になってしまうのですが、今から30年前、平成2年に当時の浦和市立病院の総合病院化ということで、その当時、浦和医師会の地域医療連携室が現さいたま市立病院内にできまして、オープン床であるさくらそう病棟ができました。</p>
	<p>ここで初めて、在宅医療の推進をしていくということになりまして、オープン床ができたことで、入院した患者さんがいれば、我々開業医が病院に出向いて、様子を見に行こうというような機運を迎えました。</p>
	<p>この時から、我々医療者の目が、患者さんの目線に非常に変わってきたところがあると思います。</p>
	<p>そういうこともありまして、在宅医療のバックアップに関しては、是非とも、よろしくお願ひしたいと思っております。ただ浦和医師会においては、かなり入院と紹介に関しては、スムーズな状況になっておりまして、本当に先生方にお世話になっているところです。ただ、地域医療の中で、先生方にぜひ色々講演会とか積極的にしていただいて、我々に指導していただきたいというのがあるのですけれども、それが今はできな</p>

堀之内院長	<p>いことになっておりますが、今後はその辺を十分果たしていただければと思っています。</p> <p>次に6ページの「4. 市立病院の課題」の「(1)人材確保に関する課題」です。</p> <p>先ほどから増田委員、尾形委員からご意見を頂戴しておりますけれども、今後こういった課題を進めていくに当たっては少なくとも、全部適用に移行して、病院長、それから病院の会議が、直接医療に関する事項を進めていけるようなフレキシブルな対応ができる体制を考えていただければと思います。単年度でも、ある程度収支が良くなるようなことがあれば、それをきっかけに全部適用に向けて、進むべきではないかなと思っていますので、その辺は是非、骨子に入れていただければと思っています。</p> <p>私の方からは以上です。</p> <p>他に言い忘れたことがございましたら、挙手をしていただければと思います。いかがでしょうか。</p> <p>最後に堀之内院長から、ご意見を伺えればと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>皆様お忙しいところ、どうもありがとうございました。</p> <p>非常に貴重なご意見をいただきましたので、第3次中期経営計画を練り直して皆様にお示しいたしたいと思います。</p> <p>コロナの第5波が爆発的でございまして、病院としても対応に非常に苦慮しているところでございます。何とかこれを全員で乗り切っていきたいと思っているところです。</p> <p>通常医療の提供がなかなか難しくなってくるような状況が、ここ1、2週間続いております、非常に心苦しいのですけれども、なんとかしたいと考えております。</p> <p>今日はどうもありがとうございました。</p>
<p>3. その他 登坂委員長</p> <p>浅野病院財務課長</p>	<p>委員の皆様から大変貴重な意見をいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>ぜひ、事務局の方で、このご意見を参考にいただき、さらにしっかりとした案を作っていただきたいと思います。</p> <p>それでは最後になります。議事3その他です。</p> <p>事務局から何かございましたら、お願いいたします。</p> <p>それでは事務局より、事務連絡をさせていただきます。</p> <p>本日は長時間にわたりご議論いただきまして誠にありがとうございます</p>

登坂委員長	<p>した。</p> <p>次回の委員会では、本日、皆様に評価していただいた内容や頂戴したご意見等、これらをまとめた上で、また本委員会の評価として確定したいと考えております。</p> <p>次回の開催につきましては、10月7日10時からの、Web会議で考えてございます。ご都合が悪くなった場合がございますら、事務局までお伝えいただければと思います。</p> <p>それでは事務連絡は以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議事は、以上をもちましてすべて終了といたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご協力と貴重なご意見を多数いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、これで本日は散会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
-------	--